

令和4年度第4回津山市ファシリティマネジメント委員会 議事概要

<p>日 時 : 令和4年11月25日(金) 午後3時 ~午後5時</p>	<p>場 所 : 津山市役所2階 第3委員会室</p>
<p>出席者</p> <p>【委員】 藏田委員、大山委員、歌房委員、相賀委員、森山委員、垂井委員、石井委員、灘岡委員、津本委員、古井委員、小山委員</p> <p>【津山市】 財産活用課長、係長、主任、都市計画課参事、主任ほか</p> <p>【傍聴人】 2名</p> <p>【欠席者】 有宗委員</p>	
<p>1. 開会 出席者の確認、委員12名に対して11名の参加で、委員会の成立を宣言。</p> <p>2. 部長あいさつ 総務部長が公務のため財産活用課長が代理として行う。</p> <p>3. 委員長あいさつ 今日は時間の限りまとめたものを形にしていく、最後の仕上げというところになります。フラットに思ったことを言える場であるので、思ったことを遠慮無くおっしゃってください。それを今年度の成果として、まとめていきたいと思えます。説明や内容も含めて、気づいたところがあれば是非意見をよろしく願います。</p>	
<p>4. 協議事項 (1)提言書(案)について 事務局から前々回のワークショップも含めてこれまでの委員会の振り返り、都心部の公園の事例紹介</p>	
<p>委員長 :</p> <p>事務局 :</p> <p>委員長 :</p> <p>委員 :</p> <p>委員長 :</p> <p>委員 :</p>	<p>前回までの振り返りと、ワークショップで出た意見の説明をしていただきました。これまでの議論を踏まえて、提案書として文字としてまとめたものと別添資料について説明させていただきます。</p> <p>提言書(案)の内容説明</p> <p>提言書と併せて提出する別添資料については事務局から説明をいただく。</p> <p>別添資料の内容説明</p> <p>ありがとうございます。ここからは提言書として発表していく前に、みなさまからの質問や意見などをいただいと思う。まず、提言書(案)について質問はありますでしょうか。</p> <p>質問は特になし。</p> <p>内容についてはご理解いただいた、ということよろしいでしょうか。次に、委員のみなさまからのコメント、意見などをいただきたいと思えます。提言書(案)、別添資料いずれの内容に関してでも構いません。</p> <p>提言書(案)、別添資料共に、非常に夢が溢れる、本当にこういった公園になればいいな、というような資料だと思う。1点、個人的に私が受け止めた印象として、提言書(案)2番のところで、少し行政の姿勢としては消極的な印象を受けます。監督・サポートする公</p>

	<p>民連携、ということは理解できるが、収益増の部分は民間の方に丸投げ、という印象がある。役割分担するとはいえ、すぐにできることは微々たるものであっても(自動販売機の設置など)、行政として収益を上げるために動くべきではないか。民間の方に収益増をお任せして、行政は財政負担の軽減ということだけではなく、収益もアップしていくということを掲げることで、積極的な印象を与えるのではないか。</p>
<p>委員長 :</p>	<p>「監督・サポート」というところは確かに控えめすぎるかな、という印象もある。公民連携の世界でよく言われる、民間が稼ぐ努力・いい取組を行い、行政がそのために必要な規制の緩和・新たな制度をつくる、ということがこの「監督・サポート」の中に入っているのだと思うが、もう一言あって良いのかと思う。見守って監督するというのではなく、サポート・後押ししていく、伴走していくなど、一緒につくりあげていくようなもののほうが良いかもしれない。</p>
<p>委員 :</p>	<p>前回までの委員会ではいろんな意見が出る中で、これだけのものに集約されており、すごいなと感じている。1点、提言書(案)3番のところで、公園部分のイメージはなんとなく分かるが、リージョンセンターの役割・位置づけ的なものが、個人的によく分からないように思えた。公園を使っていくというイメージはついたが、リージョンセンターの立ち位置・役割はどんなイメージか。多様な世代の集客が大前提であると思うが、特に若手の発信力が大事だと思う。1日中過ごせる公園というのが良いと思うが、若者向けのフリーWi-Fi・スマホ決済機能を整備するなど、“デジタルネイティブ世代”に向けた整備も考えてはどうか。</p>
<p>委員長 :</p>	<p>リージョンセンターは条例上「芸術・文化の創造と多彩な交流活動の場」ということになっているが、事務局からはどうですか。</p>
<p>事務局 :</p>	<p>リージョンセンターは大きなペンタホールなどを有している集会施設で、貸館業務を行っている。もう一つ重要なのが、公園全体の管理事務所も兼ねていて、全体をマネジメント・統括するという意味で記載している。</p>
<p>委員 :</p>	<p>現時点でグリーンヒルズ全体のWi-Fi整備の予定はないのか。</p>
<p>事務局 :</p>	<p>リージョンセンターについては今年度中に整備する予定だが、公園全体に関しての整備予定はない。</p>
<p>委員長 :</p>	<p>具体的に言えばスターバックスコーヒーなんかでも、店内+テラス席くらいでWi-Fiを使えるという感じなので、グリーンヒルズも全エリアデジタルネイティブパークということが理想だが、まずはリージョンセンター+広場などやれるところからやる、というのが良いのではないか。Wi-Fiと勉強機があれば若者が日常的に来場する動機付けにもなる。</p>
<p>委員 :</p>	<p>今の意見を聞いて、今やるべきなのは現に公園に訪れている層・世代に向けてではなく、これから訪れてほしい層・世代に向けて、ある程度ターゲットを絞った整備であると思う。それがスピード感に直結するのではないか。どの層・世代に訪れてほしいか優先順位をつけて事業を行うことが、スピード感に変わっていくと思う。この委員会にも学生の委</p>

	<p>員が毎年参加しているが、学生・若者の発信力は素晴らしいものがある。みなさんの意見には若い層にきてほしい、ということが隠れているように感じたので、それをどれだけ早く準備できるかだと思う。公民連携で取り組む場合に、公共が決めごとをする間民間が待つ、ということだけは避けたい。特に今回のテーマはどちらかと言えば公共の課題を民間と一緒に解決していく、というものである。様々な会議体などに時間を要してしまうと民間の熱が冷め、折れてしまう。民間としては収益のことを考えると、収益性があるターゲットの合うものから優先してやっていると軌道に乗せやすいと思う。ターゲットを絞っていくニュアンスを提言書(案)に足していただけると、民間も協力がしやすいのではないか。</p>
<p>委員長 :</p>	<p>多様なものに手をつけるのではなく、できることからスピード感をもって小さく早く進めていくやり方もあるのかな、と思う。</p>
<p>委員 :</p>	<p>先ほどの公園の事例は理想的な公園のイメージなのかなと思った。提言書(案)1 番目の「ビジョンを定めること」とあるが、公園をどうしたいのかということとリンクしてくると思う。また、「SDGs の理念のもと」とあるが、津山市としては SDGs を積極的に推進しているということだと思うが、どちらかと言えば「well-being」の考え方のほうが強いように感じる。公園をどういう風にしていくかという今年度のテーマで言えば、そこを軸にして移住者を増やしていくということにも繋がるのではないかなと思う。</p>
<p>事務局 :</p>	<p>ターゲットや SDGs についてももう少し考えていく必要があるように思う。</p>
<p>委員長 :</p>	<p>SDGs は若い 10 代の人たちにとってみれば、立派な学習として取り組むためのキーワードになり得ると思う。ピクニックとして遊びに行くのでは無く、生物多様性を学ぶ場としての公園になれば、保育園・幼稚園にとってのコンテンツになるのではないかな。同じ公園でもこういった“看板・旗”を掲げているのとそうでないのとで、価値が変わってくる。若い方々にとってはリアルな社会課題であり、リアルなテーマになっているので、上手く使っていくのがよいのではないかな。</p>
<p>委員 :</p>	<p>せっかく大学生の委員がおられるので、お聞きしたいのですが、SDGs は大学でも取り上げられているのでしょうか。</p>
<p>委員 :</p>	<p>そうですね。SDGs の授業もあり、何度か触れる機会もあった。</p>
<p>委員 :</p>	<p>学科によって取組は様々であると思うが、大学でもかなり取り組んでいると思う。</p>
<p>委員 :</p>	<p>私の個人的なイメージなのですが、SDGs は 2019 年頃は非常に先進的な取組であったように記憶しているが、今は当たり前になってきているように思う。提言書の 1 番として前面に押し出すべきなのかどうかということで、少し疑問に感じた。</p>
<p>委員 :</p>	<p>要素に関してはこれで十分かと思うが、1 点だけ、この提言書(案)が津山の市民のみを対象にしているように感じた。これだけの面積があり、いろいろな施設がある中で、何か市外へPRしていくこともあっても良いのではないかな。津山の土産を集めるだとか、あるい</p>

	<p>は歴史を紹介するだとか、そういう風なものがあったらいいように思う。</p>
<p>事務局 :</p>	<p>委員の言われる通り、若干市民に向けてのウェイトが高いようにも感じる。これまでの委員会の中でも「観光や市外」といったキーワードは結構あったので、その辺りはもう少しフォローアップしながら肉付けが必要。</p>
<p>委員長 :</p>	<p>観光、インバウンドのお客さんなどをイメージすると、そういう風景やそういう場所があって、そこで時間を過ごせたり、関わったりすることが、今の新しいツーリズムのキラークンテンツである。伝統文化やお祭りを体験することだけではなく、津山の日常や人たちとある面では触れ合えるような場として、観光・移住定住のきっかけとしての場所になっていくことも想像できる。</p>
<p>委員 :</p>	<p>補足資料のような公園になったら楽しいだろうな、と思いながら聞かせていただきました。気になった点として、他の委員の意見にもあったが、提言書(案)の1番のSDGsの理念と津山市としての新たなビジョン、補足資料の3点がイコールで繋がらない。SDGsの何番なのか、というのが決まってくると思うので、具体的に番号を示した方が腑に落ちるような気がする。提言書(案)2番に関して言えば、何か事業者さんが創出する、商売しようというときに、グリーンヒルズで創出・商売することが必ずしも幸せになるとは限らないと今は思う。なぜならば、今のグリーンヒルズに多くの人が訪れている訳ではないので、そう感じた。提言書(案)3番に関しては、「指定管理者制度」と「地域再生推進法人」という二つの選択肢が掲げてありますが、民間の立場でいうとプロポーザルというやり方もあるのではないのでしょうか。どちらかの選択肢しかないのでしょうか。</p>
<p>事務局 :</p>	<p>「指定管理者制度」と「地域再生推進法人」については、この後委員長のほうからも説明があるとのこと。市の施設を管理運営する仕組みの代表的なものとして「指定管理者制度」があり、「地域再生推進法人」は前回の委員会で委員長から、こういった仕組みもできるのではないのでしょうか、ということで提案いただき提言書(案)に入れている。2つを掲げているのですが、それ以外にも「Park-PFI」であったり、この他の方法も存在し、全て羅列できないので、代表的なものとして委員長からの提案の2つを入れている。また、プロポーザルについては、その方法での事業者を選ぶための手法であり、金額だけでなく、魅力ある提案といった点を加味したものである。よって「指定管理者制度」と「地域再生推進法人」「プロポーザル」というのは並列ではない。事業者を選ぶための手続きには大きく入札とプロポーザルとあり、公民連携手法を決めた後のプロポーザルでその事業者を決めるというような流れになる。</p>
<p>委員長 :</p>	<p>提言書(案)の2番目に対して、民間事業者が商売をする場所として今のグリーンヒルズはちょっと、という意図はどういったところでしょうか。</p>
<p>委員 :</p>	<p>このようなことを募集するのは賛成だが、過去に委員会の意見にもあった自動販売機を置くであるとか、日傘を設置するであるとか、もう少し環境を整えてからのほうが良いように思う。</p>
<p>委員 :</p>	<p>こちらの提言書(案)の印象を申し上げると、付属資料も含めてよくまとめていただけて</p>

	<p>いると思う。これらが実現すれば本当にみんなに楽しんでもらえる、市内の人も市外の人も楽しんでもらえる公園になると思った。しかし、同時に「生活のちよっと向こう側」にあるような公園を目指すとのことで、現時点でのグリーンヒルズとここから見えてくる公園を想像・比較すると、かなり壮大に感じられる。先ほど皆さんがおっしゃるように、まずどこから手を付けて、どこにターゲットを絞るかという具体性が見えない、という印象を受けた。それを今どの程度具体的に話すか、ということは今の段階ではないかもしれないが、そのように感じた。</p>
<p>委員長 :</p>	<p>今回の提言書はあくまでも、この委員会の限られた時間の中で、大きな方針・考え方を提言するのであって、我々はこのために専門で仕事をしている訳ではないので、今後の詰める作業はこの方針に沿ってしっかりやっていただくというものである。よって、提言書の形としてはこんなイメージで、付属資料その他で補足していくのが一般的。ただ、一方でおっしゃっていたように、だから意見を言わなくていい、ということではないので、提言書に書くか書かないかは別として、意見はしっかりと受け止めて次の展開に反映させていきたいな、というところです。壮大なイメージが膨らんだという意味では、ある意味しっかりとしたものができたと考え、逆に何から手を付けるべきかなどというプライオリティ、進め方みたいな意見もいただければと思う。ここにいる委員のみなさんは、全員異なるプライオリティを持っていると思うので、次に展開していくときの非常に重要なヒントになると思う。印象の先の意見をお持ちでしたら教えてほしい。</p>
<p>委員 :</p>	<p>先ほどの委員の意見を聞いて思ったが、本当に今募集を始めても、事業者の方もなんとなく困惑をされるように思う。やはり市が最初に少しでもお金をかけて、自動販売機や噴水横の簡易テントなど、ある程度整備をしてその姿勢を見せた上で募集をされるという順番が良い。</p>
<p>委員 :</p>	<p>私も先ほどの委員と似た意見になるが、一度に全ては無理だと思うので、実現に向けて少しでも優先順位をつけていく作業が今後必要になってくると感じた。</p>
<p>委員長 :</p>	<p>この中で自身の立場で特に優先的に着手すべきと感じるものは何かあるか。</p>
<p>委員 :</p>	<p>やはり自動販売機などの環境整備かな、と思います。</p>
<p>委員 :</p>	<p>付属資料の写真はすごいワクワクする資料で、わかりやすかった。他の委員とも似た意見ではあるが、5つの軸を同時に実現は難しいので、まず「楽しみ」など主軸になるものをやっけていき、集客を行えるものから整備を進めていくのがよいと思う。</p>
<p>事務局 :</p>	<p>まさに委員のみなさまがおっしゃられる通りで、どこかのタイミングで一斉にこれらが整備されるということはない。明確な時間軸をもって、1年先、2年先・・・と時間を経るごとによってどんどん整備されて最終的にこういったゴールにたどり着いたら、と思う。</p>
<p>委員 :</p>	<p>付属資料にかかげる目標を何かわかりやすい熟語などにしてみるのはいかがでしょうか。楽しく外にPRするという意味でも、ユニバーサルに老若男女にわかりやすいコンセプトにするというと思う。</p>

<p>委員長 :</p> <p>委員長 :</p>	<p>これまで出た提言書(案)について、見直していくべき点を整理していくと、1 番目の「SDGs の理念のもと」という部分がわかりにくいので、より具体的に例えば、マークや番号で具体化していき、付属資料への紐付けも太くしていく。2 番目の部分で行政の役割として、「伴走」「一緒にやっていく」というニュアンスを加えていく。また、民間に稼いでいただく前の準備として、行政による環境整備、段取りなど、民間に参入してもらいやすいような取組をしていくという文言を加える。3 番目のリージョンセンターについては事務局からの説明があったような役割があるということでご理解いただけたでしょうか。また、この部分について「サウンディング」とあるが、条件整備、実績を作っていくという意味で、「トライアル・サウンディング」「暫定利用」といった言葉もあっても良いように感じました。付属資料については、市民以外の方に向けての PR の目線も工夫できればと思います。内容については概ね良いと思うが、ここで意見の出た Wi-Fi や自動販売機などの環境整備という部分についても記載することができれば、より届くのかなと感じた。</p> <p>これらのことを修正、アップデートして仕上げていきたいと思う。</p> <p>以上で、提言書については一旦まとめとし、手法の説明を行う。</p> <p>委員長より「指定管理者制度」「地域再生推進法人」についての説明、全国での事例紹介</p> <p>提言書と添付資料について、これらの手法の説明も含めて、今日いただいた意見や修正点を事務局と調整し、提言書を作成していきたい。大変貴重なご意見をありがとうございました。是非、良い形でまとめをさせていただきたいと思う。</p>
<p>(2)その他</p>	
	<p>特になし</p>
<p>5. 第 5 回津山市ファシリティマネジメント委員会開催日時について 令和 4 年 12 月 23 日（金） 11:30～ 提言書を市長へ提出</p>	
<p>6. 閉会</p>	